

< 2006年分 東京医科歯科大学産科婦人科学教室業績 >

[原著]

1. Miyasaka N, Takahashi K, Hetherington HP: Fully Automated Shim Mapping Method For Spectroscopic Imaging of the Mouse Brain at 9.4T: *Magnetic Resonance in Medicine*, 55:198-202, 2006.
2. Miyasaka N, Takahashi K, Hetherington HP: ¹H NMR Spectroscopic Imaging of the Mouse Brain at 9.4T: *Journal of Magnetic Resonance Imaging*, 24:908-913, 2006.
3. Ishikawa T, Harada T, Koi H, Kubota T, Azuma H and Aso T: Identification of arginase in human placental villi. *Placenta* in press (available online)
4. Zhao F, Kuroiwa T, Miyasaka N, Tanabe F, Nagaoka T, Akimoto H, Ohno K, Tamura A: Diffusion tensor feature in vasogenic brain edema in cats. *Acta Neurochirurgica – supplement*, 96:181-183, 2006.
5. Kimura T, Matsumoto T, Akiyoshi M, Owa Y, Miyasaka N, Aso T, Moritani T: Body fat and blood lipids in postmenopausal women are related to resting autonomic nervous system activity. *European Journal of Applied Physiology*, 97:542-547, 2006.
6. Terauchi M, Obayashi S and Aso T: Estriol, conjugated equine estrogens and alendronate therapy for osteoporosis. *International Journal of Gynaecology and Obstetrics*, 92:141-142, 2006.
7. Terauchi M, Kubota T, Aso T and Maehara T: Dysembryoplastic Neuroepithelial Tumor in Pregnancy, *Obstetrics and Gynecology*, 108(3):730-732, 2006.
8. Haku T, Miyasaka N, Kuroiwa T, Kubota T, Aso T: Transient ADC change precedes persistent neuronal death in hypoxic-ischemic model in immature rats. *Brain Research*. 1100:136-141. 2006.
9. Ishibashi T, Obayashi S, Sakamoto S, Aso T, Azuma H: Estrogen replacement effectively improves the accelerated intimal hyperplasia following balloon injury of carotid artery in the ovariectomized rats. *J Cardiovasc Pharmacol.*, 47: 37-45, 2006.
10. Hirata M, Sakamoto S, Obayashi S, Aso T, Imamura M, Azuma H: Involvement of arginase in regulating myometrial contractions during gestation in the rat. *Mol Hum Reprod*, 12:513-518.
11. Wakana K, Akiyama Y, Aso T, Yuasa Y: Involvement of GATA-4/-5 transcription factors in ovarian carcinogenesis. *Cancer Lett*, 241(2):281-288. 2006.
12. 石橋智子、久保田俊郎:ピルの副効用と(利点)と新ガイドライン—エビデンスにもとづく解説—5. PID. *臨床婦人科産科* 60 巻 12 号、医学書院、2006. 12.
13. 鳥羽三佳代、砂倉麻央、小坂元宏、麻生武志:術前卵巣悪性腫瘍との鑑別が困難であった後腹膜巨大神経鞘腫の一例。*日本産科婦人科学会東京地方部会誌*、55(3):378-382, 2006.
14. 吉川舞、田島麻記子、小坂元宏、久保田俊郎、麻生武志:化学療法後手術療法により寛解状態の得られた腹膜原発悪性中皮腫の1例。*日本産科婦人科学会東京地方部会誌*、55(1):116-120, 2006.
15. 堀出由里、清水康史、原田竜也、己斐秀樹、尾林聡、坂本秀一、久保田俊郎、麻生武志、多田雅人:不妊症例における腹腔鏡後の妊娠に関する検討。*産婦人科の実際*、55(7):1175-1178, 2006.
16. 秋吉美穂子、大輪陽子、尾林聡、久保田俊郎、麻生武志:更年期・老年期女性における健康教育ニーズと母性衛生への関連に関する研究。*東京母性衛生学会誌*、Vol. 22-1、p61-66、2006. 3.

[著書]

1. 久保田俊郎:不正性器出血、機能性子宮出血。今日の治療指針 2006年版。pp894-895、山口徹 他編、医学書院、2006.

2. 久保田俊郎：妊産婦・女性性器疾患、171 子宮筋腫、ベストアプローチ臨床検査ガイド。 p388、奈良信雄編、中外医学社、2006.
3. 久保田俊郎：妊産婦・女性性器疾患、173 妊娠高血圧症候群、ベストアプローチ臨床検査ガイド。 pp391-392、奈良信雄編、中外医学社、2006.
4. 小坂元宏、久保田俊郎：妊産婦・女性性器疾患、169 子宮頸癌、ベストアプローチ臨床検査ガイド。 pp385-386、奈良信雄編、中外医学社、2006.
5. 小坂元宏、久保田俊郎：妊産婦・女性性器疾患、170 子宮体癌、ベストアプローチ臨床検査ガイド。 pp386-387、奈良信雄編、中外医学社、2006.
6. 小坂元宏、久保田俊郎：妊産婦・女性性器疾患、172 卵巣癌、ベストアプローチ臨床検査ガイド。 pp389-390、奈良信雄編、中外医学社、2006.

[総説]

1. 麻生武志：Total Health Care における SERMs、 The Bone、20(1):79-84、2006
2. 麻生武志：今後の医療教育研修を考えるー女性医療・性差医療を踏まえてー。Curent Therapy24(2):37-139、2006
3. 久保田俊郎：中年女性の大量出血（症例・プライマリー・ケア [救急]）。日本産科婦人科学会雑誌、58(1):N-8~N-13、2006
4. 久保田俊郎：7. 腹腔内出血が疑われたら。産婦人科救急マニュアル [婦人科・産科領域]、産科と婦人科、73(11):1527-1532、2006
5. 久保田俊郎：ゴナドトロピンと疾患 Sheehan 症候群、ゴナドトロピン（性腺刺激ホルモン）(LH, FSH)。臨床分子内分生物学4、生殖内分泌系、日本臨床、64(増刊号):213-216、2006
6. 久保田俊郎：プロジェステロン(P₄)、最新臨床検査の ABC、内分泌・代謝検査 (5)性腺・胎盤関係。日本医師会雑誌、135(特別号2):S268、2006
7. 久保田俊郎：プレゲナンジオール(P₂)、プレゲナントリオール(P₃)、最新臨床検査の ABC、内分泌・代謝検査 (5)性腺・胎盤関係。日本医師会雑誌、135(特別号2):S270、2006
8. 尾林聡：産婦人科ローテイトでこれだけは身につけよう；ホルモン補充療法(HRT)臨床研修プラクティス、Vo13: 71-73、2006

[学会発表]

1. Shimizu Y, Horide Y, Kubota T, Aso T: Outcome of pregnancy of endometriosis patients after laparoscopy. 62nd annual meeting of American Society of Reproductive Medicine, New Orleans, USA, October, 2006.
2. Harada T: Workshop " Placental Enzymes and Transporters : New Functions and Genetic Polymorphisms" The role of Arginase in Human Placental Villi. 12th International Federation of Placenta Associations Meeting, Kobe, Japan, September, 2006.
3. Ishibashi T, Obayashi S, Aso T, Sakamoto S, Imamura M and Azuma H: Facilitation of the functional reendothelialization in improving the accelerated intimal hyperplasia with estrogen in the rat. 15th World Congress of Pharmacology Beijing, China, July, 2006.
4. 麻生武志：中高年女性の健康管理と保健指導 更年期をいきいきと過ごすには。中高年女性保健セミナー、東京、1月、2006.
5. 久保田俊郎：卵巣・子宮内膜の機能発現における血管作動性物質の役割。第5回RMB(生殖医学・生物学)研究会シンポジウム、東京、1月、2006.

6. 麻生武志：産婦人科医と語る生活習慣病・ガン予防 女性の生活習慣病とその予防。日本産科婦人科学会神奈川県地方部会市民公開講座、神奈川、3月、2006.
7. 麻生武志：最終講義；女性医療の現状と展望。東京医科歯科大学大学院生殖機能協同学講座、東京、3月、2006.
8. 麻生武志：特別講演；女性医療の現状と展望。福井大学医学部産科婦人科学教室同窓会、福井、3月、2006.
9. 尾林聡：性差を考慮した保健医療シンポジウム；性差を考慮した保健医療 ～住民を支える実践の現場から～。千葉、3月、2006.
10. 石橋智子、尾林聡、坂本秀一、麻生武志、今村公、東洋：エストロゲンによる卵巣摘出後の頸動脈内膜肥厚増悪の改善には内皮細胞再生促進、内因性 NOS 阻害因子蓄積低下ならびに NO 産生亢進が関与する。第 79 回日本薬理学会年会、横浜、3月、2006.
11. 平田美佐子、坂本秀一、尾林聡、麻生武志、東洋：妊娠子宮平滑筋の収縮制御におけるアルギナーゼの関与。第 79 回日本薬理学会、P2L-36(p219)、横浜、3月、2006.
12. 清水康史、田島麻記子、久保田俊郎、麻生武志：重度の子宮腺筋症合併妊娠で生児を得た一例。第 58 回日本産科婦人科学会学術講演会、横浜、4月、2006.
13. 白朋子、宮坂尚幸、久保田俊郎、麻生武志：低酸素性虚血性脳症ラットモデルにおける海馬遅発性神経細胞死について—MR 拡散強調画像との関連。第 58 回日本産科婦人科学会学術講演会、P2-438 (p737)、横浜、4月、2006.
14. 石橋智子、尾林聡、坂本秀一、麻生武志、東洋：エストロゲン補充による卵巣摘出後の頸動脈内膜肥厚増悪抑制には内皮細胞再生促進、内因性 NOS 阻害因子蓄積低下ならびに NO 産生亢進が関与する。第 58 回日本産科婦人科学会学術講演会、横浜、4月、2006.
15. 平田美佐子、坂本秀一、尾林聡、麻生武志、東洋：子宮平滑筋の収縮制御におけるアルギナーゼの妊娠期別変化。第 58 回日本産科婦人科学会学術講演会、P2-336 (p703)、横浜、4月、2006.
16. 若菜公雄、久保田俊郎、湯浅保仁、麻生武志：転写因子 GATA-4/-5 の上皮性卵巣癌発生への関与。第 58 回日本産科婦人科学会学術講演会、横浜、4月、2006.
17. 石川智則、原田竜也、久保田俊郎、麻生武志：子宮内膜間質細胞の matrix metalloproteinase-1 産生に対する androgen の役割。第 58 回日本産科婦人科学会学術講演会、P1-334(p482)、横浜、4月、2006.
18. 馬場咲弥子、石川智則、尾林聡、久保田俊郎、麻生武志：移動虫垂炎による腹膜炎が疑われた腸管子宮内膜症の一例。第 58 回日本産科婦人科学会学術講演会、P2-554 (p776)、横浜、4月、2006.
19. 秋吉美穂子、加藤清子、野地有子、杉山みち子、箕輪尚子、尾林聡、久保田俊郎、麻生武志：更年期・老年期女性における生活習慣病のリスクと健康教室の有効性の評価。第 58 回日本産科婦人科学会学術講演会、P2-511 (p762)、横浜、4月、2006.
20. 石橋智子、尾林聡、麻生武志、坂本秀一、今村公俊、東洋：エストロゲン補充による卵巣摘出後の頸動脈内膜肥厚増悪抑制には NO 産生亢進、内皮細胞再生促進ならびに内因性 NOS 阻害因子蓄積低下が関与する。第 6 回日本 NO 学会学術集会、東京、5月、2006.
21. 鳥羽三佳代、砂倉麻央、小坂元宏、麻生武志：術前卵巣悪性腫瘍との鑑別が困難であった後腹膜巨大神経鞘腫の一例、第 338 回日産婦東京地方部会例会、5月、2006.
22. 清水康史：産科分娩に関する医療事故について。第 27 回分娩監視研究会特別講演、東京、6月、2006.

23. 栗原聡美、原田竜也、小坂元宏、宮坂尚幸、久保田俊郎、麻生武志：未成熟奇形腫治療後 12 年で成熟奇形腫を発症し、子宮内膜症病変を伴う神経こう腫を認めた 1 例。第 111 回日産婦関東連合地方部会総会、#75、東京、6 月、2006.
24. 谷口義実、尾林聡、久保田俊郎：神経性食思不振症を伴い腹壁手術創こ 2 回再発をきたした卵巣癌の 1 例。第 35 回日本女性心身医学会学術集会、大宮、7 月、2006.
25. 宮坂尚幸、栗原里美、久保田俊郎：FDG-PET にて強い集積を示した卵巣 mature cystic teratoma の一例。The 7th Annual Symposium Japanese Society for the Advancement of Women's Imaging, AWAJI, September, 2006.
26. 北野麻衣子、若菜公雄、石川智則、砂倉麻央、小坂元宏、久保田俊郎：卵管原発移行上皮癌の 1 例。第 339 回日産婦東京地方部会例会、#4、9 月、2006.
27. 尾林聡：東京薬科大学 サテライト小グループ卒後講座；女性の健康支援ができる薬剤師になるための産婦人科領域の基礎履修コース、婦人科良性腫瘍、感染症の診断と治療。東京、10 月、2006.
28. 石橋智子、秋吉美穂子、加藤清子、尾林聡、久保田俊郎、麻生武志：中高年女性の尿失禁に対するヘルスサポートの検討。第 21 回日本更年期医学会学術集会、京都、10 月、2006.
29. 鳥羽三佳代、石橋智子、尾林聡、久保田俊郎、麻生武志：10 年間の更年期女性の意識・社会背景の変化に関する検討。第 21 回日本更年期医学会学術集会、#41、京都、10 月、2006.
30. 松村康弘、藤田利治、李廷秀、片野田耕太、久保田俊郎、水沼英樹、麻生武志、林邦彦：日本ナースヘルス研究における閉経状況と各種検査値との関連。第 21 回日本更年期医学会学術集会、#52、京都、10 月、2006.
31. 藤田利治、松村康弘、片野田耕太、李廷秀、久保田俊郎、水沼英樹、麻生武志、林邦彦：女性看護職における閉経と疾患の既往割合との関連：Japan Nurses π Health Study。第 21 回日本更年期医学会学術集会、#53、京都、10 月、2006.
32. 安井敏之、藤田利治、松村康弘、片野田耕太、李廷秀、久保田俊郎、水沼英樹、麻生武志、林邦彦：わが国女性における自然閉経年齢に影響を及ぼす要因の検討 Japan Nurses Health Study ベースライン調査から一。第 21 回日本更年期医学会学術集会、#54、京都、10 月、2006.
33. 大橋まどか、原田竜也、栗原聡美、大井理恵、砂倉麻央、宮坂尚幸、尾林聡、久保田俊郎、桑江千鶴子：帝王切開後に子宮筋層感染をきたし、再開腹術を施行した 5 症例の検討。第 112 回日産婦関東連合地方部会総会、#40、横浜、10 月、2006.
34. 石川智則、原田竜也、久保田俊郎：栄養膜細胞の分化における arginase のはたらき。第 51 回日本生殖医学会学術講演会、P-150(p216)、大阪、11 月、2006.
35. 大藏慶憲、若林晶、久保田俊郎：婦人科癌再発症例への対応～Second line 化学療法の方法とその効果～ 当院における進行癌に対する neoadjuvant chemotherapy についての検討。東京医科歯科大学産婦人科同窓会研究会、東京、12 月、2006.
36. 若林晶、大藏慶憲、小坂元宏、久保田俊郎：進行卵巣癌に対する neoadjuvant chemotherapy について。四大学フォーラム、東京、12 月、2006.
37. 山中政人、大橋まどか、大井理恵、小坂元宏、原田竜也、宮坂尚幸、尾林聡、久保田俊郎：妊娠中イレウスを発症した卵巣癌手術・化学療法後の 1 例。第 340 回日産婦東京地方部会例会、12 月、2006.